

つぶやき・プチ歴史 (れきし)

こくさいこうりゅう

国際交流センターからのつぶやき



職員(しょくいん)のつぶやき



かわかみ

あたらしい(あた) 家族(かぞく) が 増え(ふ) ました。 念願(ねんがん) の 黒(くろ) パグ(なまえ) で、 名前(なまえ) は 「わさび」 です。 男(おとこ) の 子(こ) の せいか、 いたずら(いたずら) 好き(す) き で と とも 「やんちゃ」 の ため、 飼主(かいぬし) は 寝不足(ねふそく) 状態(じょうたい) です。 やっと(やっと) しつけ(しつけ) 期(き) に 入り、 現在(げんざい) 奮闘(ふんとうちゅう) 中(ちゅう) です。 所定(じょてい) の 場所(ばしょ) で トイレ(トイレ) が できると 寄(よ) っ て きて、 ちゃん(ちゃん) と でき(でき) た ぞ! と 「ドヤ顔(かお)※」 を し、 ご褒美(ほうび) を おね(ね) だ り し ます。 苦(く) 勞(らう) も 多(おほ) い け ど、 彼(かれ) に 癒(い) され(さ) れ る 今日(けふ) の 頃(ころ) です。(※ドヤ顔(かお) = 誇(ほこ) ら し げ な 顔(かお))

水戸市(みと) 在(ざい) 住(じゅう) 外(がい) 国(こく) 人(じん) の つぶやき



トッド・トレフソンさん <アメリカ(あめりか) 出(しゅっ) 身(しん)>



ちが(ちが) ぶん(ぶん) 化(か) の 中(ちゅう) で 生(せい) 活(かつ) し て い る と、 間(ま) 違(ちが) い を 起(お) こ し や す く な り ます が、 茨(いばら) 城(き) の 人(ひと) たち は、 私(わたし) の 色(いろ) 々(ろく) な 「間(ま) 違(ちが) い」 (例(れい) え ば 語(ご) 学(がく) 的(てき) な も の) に 対(たい) し て、 と とも 親(しん) 切(せつ) だ と 感(かん) じ ます。 時(とき) に は 「間(ま) 違(ちが) い」 も 愉(ゆ) 快(がい) な も の で、 お も し ろ い 会(かい) 話(わ) に 発(は) 展(てん) し ます。 日(に) 本(ほん) 人(じん) の 友(ゆう) 人(じん) に、 こ う い わ れ ま せ ぬ。 日(に) 本(ほん) に 来(き) た ば か り の 頃(ころ)、 私(わたし) は、 間(ま) 違(ちが) い の お か げ で と とも 楽(たの) し い 人(ひと) 間(かん) だ っ た の に、 今(いま) は つ ま ら な い 人(ひと) 間(かん) に な っ て し ま っ た と。 ある 意(い) 味(み)、 順(じゆん) 応(おう) し す ぎ な い ほう が 良(よ) い 時(とき) も ある の か も?

水戸(みと) の 歴(れき) 史(し) ~ 「水戸(みと) 藩(はん) ラーメン」 ~

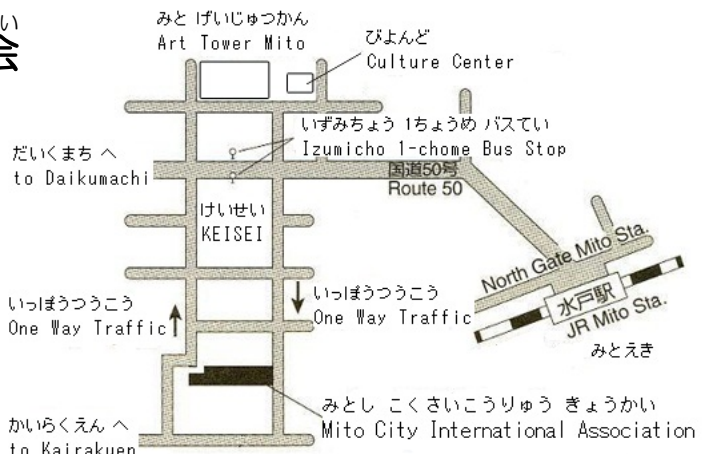
水戸市(みと) に は、 「水戸藩(みとはん) ラーメン」 と い う ラーメン を 食(た) べ ら れ る 中(ちゅう) 華(わ) 料(りょう) 理(り) 店(てん) が い く つ か あ り ます。 食(た) べ た こ と は あ り ます か? 今(こん) 回(かい)、 「水戸藩(みとはん) ラーメン」 の お 話(わ) です。 6月(がつ) 号(ごう) ~ 8月(がつ) 号(ごう) で 紹(しょう) 介(かい) し た 徳(とく) 川(がわ) 光(みつ) 圀(くわん) は、 歴(れき) 史(し) 書(しょ) の 「大(だい) 日(にっ) 本(ほん) 史(し)」 を ま と め る た め に、 中(ちゅう) 国(こく) の 儒(じゆ) 学(がく) 者(しゃ) を 水戸藩(みとはん) に 招(まね) き ま せ ぬ。 光(みつ) 圀(くわん) は 色(いろ) 々(ろく) な も の に 対(たい) し て 興(きょう) 味(み) が 強(つよ) く、 儒(じゆ) 学(がく) 者(しゃ) から 中(ちゅう) 国(こく) 麵(めん) の 作(つく) り 方(かた) を 教(おそ) わ っ て、 食(た) べ る よ う に な り ま せ ぬ。 この 時(とき) の ラーメン を 可(か) 能(のう) な か ぎ り 再(さい) 現(げん) し た の が 「水戸藩(みとはん) ラーメン」 です。 小(こ) 麦(むぎ) 粉(こな) に 蓮(れん) 根(こん) の 粉(こな) を ま ぜ て 作(つく) っ た 麵(めん) で、 肉(にく) や し いた け 等(とう) が の っ て い ます。 ま た、 「五(ご) 辛(しん)」 と い わ れ る 5種(しゅ) 類(るい) の 薬(やく) 味(み) (にんにく・にら・らっきょう・ねぎ・しょうが) と 一(いっ) 緒(じょ) に 食(た) べ ます。 光(みつ) 圀(くわん) は、 日(に) 本(ほん) で 初(はじ) め て ラーメン を 食(た) べ た 人(じん) 物(ぶつ) と い わ れ て い ます。

公益財団法人(こうえきざいだんほうじん) 水戸市(みと) 国(こく) 際(さい) 交(こう) 流(りゅう) 協(きょう) 会(かい)

〒310-0024 水戸市(みと) 備(び) 前(ぜん) 町(まち) 6-59
 tel 029-221-1800 fax 029-221-5793
 mail mcia@mito.ne.jp
 HP http://www.mitoic.or.jp
 休(きゅう) 館(かん) 日(び): 月(げつ) 曜(よう) 日(び)、 祝(しゅく) 日(じつ)



Culture Pot MITO へのご意見(ごいけん)・ご要望(ごようぼう)、まっています!

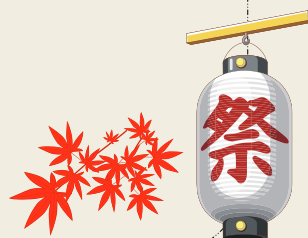




Culture Pot MITO

CONTENTS

- 【イベント】水戸の萩まつり / 弓術の儀式を見よう / フリーマーケット / 国際交流パーティー / どようサロン「トコトン韓国」
- 【せいかつ】9月の記念日 / 秋の食べ物 / 日本語教室 / 外国人相談窓口 / 国民健康保険料 9月の支払いは9/30 しめきりです
- 【とくしゅう】防災特集
- 【その他】職員をつぶやき
水戸市在住 外国人の つぶやき
水戸がもっと好きになる♪プチ歴史



写真：8月7日 水戸黄門まつり JICA筑波の研修員を囲んで、南町二丁目 太鼓若連のみなさん



水戸市国際交流協会では、水戸市に住む 外国人の方に わかりやすい 生活情報をとどけるため、毎月、生活情報紙「Culture Pot Mito」を作っています。
「Culture Pot Mito」は、水戸市をひとつの pot (つぼ) に例えて、その中にたくさんの culture(文化)が入っているような、多文化共生の社会をイメージした言葉です。この情報紙が、みなさんの生活で役に立ち、水戸市をもっと好きになるきっかけになることを願っています。

※ 多文化共生の社会 = 国・言葉・文化のちがう人たちがみんなが住みやすい社会